【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】令和6年10月9日(2024.10.9)

【国際公開番号】WO2023/190223
【出願番号】特願2024-512398(P2024-512398)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｈ 57/02(2012.01)
Ｆ１６Ｈ 1/06(2006.01)
Ｈ０２Ｋ 7/116(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｈ 57/02
Ｆ１６Ｈ 1/06
Ｈ０２Ｋ 7/116

【手続補正書】
【提出日】令和6年7月30日(2024.7.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ステータコアと前記ステータコアから軸方向の両側に突出したコイルエンドとを有するステータと、前記ステータに対して回転可能に設けられたロータと、を有する回転電機と、
前記ロータに駆動連結された動力伝達機構と、
前記動力伝達機構に駆動連結されたデフリングギヤと、前記デフリングギヤが一体化されたデフケースと、前記デフケースに内包された差動機構と、を有するディファレンシャル装置と、
前記回転電機と、前記動力伝達機構と、前記ディファレンシャル装置とを収容したケースと、を備え、
前記ケースは、前記回転電機と前記ディファレンシャル装置との間に配置された隔壁を有し、
前記隔壁は、前記ステータコアと前記ディファレンシャル装置との距離が最短になる部分において、前記ステータコアの一部が前記ディファレンシャル装置側に露出するように開口した開口部を有する、
車両用駆動装置。
【請求項２】
前記ステータコアは、外周部において前記軸方向に沿って開口されたボルト固定穴を有し、
前記ステータコアと前記ディファレンシャル装置との距離が最短になる部分において、前記ディファレンシャル装置は、前記ステータコアを前記軸方向から視た場合に、前記ロータの回転中心を中心として前記ボルト固定穴の中心を通過する仮想円に重なって配置される、
請求項１に記載の車両用駆動装置。
【請求項３】
前記動力伝達機構は、前記回転電機に対して軸方向一方側に配置され、
前記開口部は、前記軸方向一方側の端部に、軸方向他方側を向いた第１端面を有し、

前記ステータコアの前記軸方向一方側の第２端面は、前記第１端面に対して前記軸方向に密着して配置されている、
請求項１に記載の車両用駆動装置。
【請求項４】
前記開口部は、前記軸方向他方側の端部が前記ステータコアの前記軸方向の中心よりも前記軸方向一方側に位置する、
請求項３に記載の車両用駆動装置。
【請求項５】
前記動力伝達機構は、前記回転電機に対して軸方向一方側に配置され、前記ロータに駆動連結された第１回転軸と、前記第１回転軸に固定して設けられた第１ギヤと、前記第１回転軸に平行に配置された第２回転軸と、前記第２回転軸に固定して設けられ、前記第１ギヤよりも大径で前記第１ギヤに噛合する第２ギヤと、前記第２回転軸に固定して設けられ、前記第２ギヤよりも軸方向他方側に配置され、前記デフリングギヤよりも小径で前記デフリングギヤに噛合する第３ギヤと、を有する減速機構であり、
前記差動機構は、前記軸方向の中心が前記回転電機に対して径方向から視て前記軸方向に重なる位置に配置されている、
請求項１乃至４のいずれか１項に記載の車両用駆動装置。
【請求項６】
前記デフケースの前記軸方向の両端部を前記ケースに対して回転可能に支持する２つの軸受を備え、
前記２つの軸受のうちの前記軸方向一方側の前記軸受は、前記デフリングギヤに対して径方向から視て前記軸方向に重なる位置に配置されている、
請求項５に記載の車両用駆動装置。